

## 平成23年度第2回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会の概要

○日 時： 平成23年5月20日（金） 14時15分～16時30分

○場 所： 京都市立京北病院2階 大会議室

○出席者： 理事長 内藤 和世  
理 事 森本 泰介, 新谷 弘幸, 棚橋 一博, 桑原 安江, 位高 光司  
山本 壯太, 小西 哲郎, 木村 晴恵  
監 事 長谷川佐喜男, 中島 俊則

○次 第

### 1 開 会

### 2 京都市立京北病院の概要説明及び視察

(主な質疑内容)

- 病院での診療と訪問看護、訪問診療の収益面の差について  
→ 単価は低いが、京北病院における訪問看護、訪問診療は、住民の医療、看護の必要度が把握できることから、この地域には必要なことである。
- 京北地域の高齢化率の上昇と患者数の伸び悩みについて  
→ 京北地域における医療ニーズに合わせ、地域包括ケアとして入院から在宅療養まで取り組む診療提供体制を整えることが、今後の京北病院の課題である。
- 他の施設との競合について  
→ 今後は、京北地域の特別養護老人ホームを含め、京都市内の同様の施設とも連携を図る必要がある。

### 3 議事等

(1) 地方独立行政法人京都市立病院機構病院等管理規程の改正について

(2) 平成22年度決算見込みについて

(主な質疑内容)

- ・ 平成22年度は、京都市病院事業として最後の決算となる。
- ・ 政策医療に関する経費について、今後も総務省の繰出基準に基づき一般会計から繰入れを受け、市民のための政策的医療の経費として市民へ還元していきたい。
- ・ 京都市立病院については、将来を見据え、財務体質を強化していきたい。
- ・ 京都市立京北病院については、中期計画期間中に黒字基調にしていきたいと考えている。

(3) 経営状況月次報告（4月分）について

（主な質疑内容）

- ・ 京都市立病院の4月の稼働病床利用率については、昨年同月と比べかなり高い数値となった。昨年来の様々な取組を通じた、医師、看護師等職員の意識変化によるところが大きいと考えている。
- ・ 京都市立京北病院については、常勤医師が増えたことによる効果を高め、療養病床を転換し、開設した介護老人保健施設の利用率を上げる努力をしていく。

4 今後の理事会運営について

具体的な年間の開催スケジュールを説明

5 閉会